

**J-INFRA**

**マニュアル (1.1 JP)**

## 機器に表示されているマーク



操作マニュアルの情報を参照してください。



**WARNING!**  
高電圧危険!

## 目次

<b>安全上の注意</b> .....	<b>3</b>
ラウドスピーカーを使用する際の説明.....	3
<b>J-INFRA</b> .....	<b>4</b>
コネクター.....	4
技術仕様.....	6
<b>製造者宣言</b> .....	<b>7</b>
ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて) .....	7
WEEE 宣言 (廃棄について) .....	7

## 概説

J-INFRA マニュアル

バージョン 1.1 JP, 09/2015, D2984.JP .01

Copyright © by d&b audiotechnik GmbH 2015; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH  
Eugen-Adolff-Strasse 134, D-71522 Backnang, Germany  
Telephone +49-7191-9669-0, Fax +49-7191-95 00 00  
E-mail: docadmin@dbaudio.com, Internet: www.dbaudio.com



### 警告!

#### ラウドスピーカーを使用する際の説明

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルとなる可能性があります。危険でないと思われる音量（約 95 dB の音圧レベルから）であっても、長期間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

ラウドスピーカーを地面に配置するか、吊り下げている時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください：

ラウドスピーカーまたはラウドスピーカースタンドのセットアップは、必ず堅い床面で行います。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。

組立てや移動式配置のためのアクセサリは、d&b でテストされ承認されたもののみを使用します。特に弊社「組立の説明書」または「フライングシステムおよびリギングマニュアル」に詳細が記載されているようアクセサリの正しい使用法および最大積載量に注意を払って行ってください。

すべての追加ハードウェア、据付または移動配置用の固定および留め具が適切なサイズであることと安全積載係数を確かめます。ご使用になる製品の各メーカーの取扱指示書および関連の安全ガイドラインを確認してください。

ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。

定期的に、取付装置の全ての荷重支持ボルトを点検してください。

### 注意!

ラウドスピーカーには、接続されていない場合や、使用されていない場合でも静的電磁場が発生しています。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損傷の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにいることを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

## J-INFRA

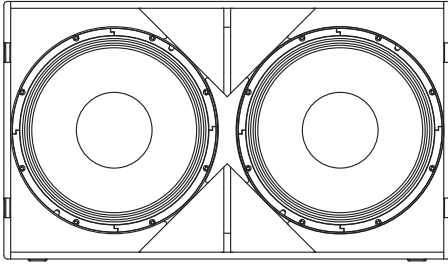


図 1: J-INFRA ラウドスピーカー

J-INFRA は、J シリーズ用のカーディオイドインフラサブウーファーで、J8、J12 および J-SUB キャビネットの様々な組み合わせで構成される J シリーズシステムの補強に使用することができます。これによって J シリーズシステムの周波数特性は 27 Hz まで拡張されます。

J-INFRA のキャビネットは、グラウンドスタックによる一般的な L/R セットアップでも、サブウーファーアレイのどちらの配置でも使用できます。1 台の J-INFRA キャビネットで、2 台の J-SUB サブウーファーに更に低い周波数域のエネルギーを追加して供給します。

J シリーズアレイのプランおよびデザインの詳細な説明は、J フライングフレームおよび d&b ArrayCalc ソフトウェアとともに提供される「TI 385 d&b Line array design, ArrayCalc」技術文書に記載されています。

J-INFRA キャビネットは、アクティブ駆動の 2 ウェイバスレフレックス設計で、3 台の高偏位ネオジウム 21 インチドライバーを搭載しています。2 台はキャビネットの前方に、1 台は後方に向かって放射しています。

前方および後方向きのドライバーは、それぞれ個別のアンプチャンネルで駆動し、独立したバスレフレックスチャンバーで動作します。この設定から生み出されるカーディオイド指向性パターンにより、システム後方への不必要なエネルギーの回り込みを防止し、低域の残響音場を大幅に減少させ、極めて高精度な低域再生を提供します。J-INFRA キャビネットは、隣接するキャビネットとの間隔を必ず 60 cm (2 ft) 以上あけて設置してください。

J-INFRA キャビネットは船舶用合板製で、耐衝撃および耐水性 PCP(ポリウレアキャビネットプロテクション) 仕上げが施されています。ラウドスピーカーキャビネットの前面および後面は頑丈な金属性グリルで保護されています。両側面パネルには合計 8 つのハンドルが付いています。キャビネットには背面パネルから前面パネルに渡って 2 本のランナーがあるため、底面パネルを擦り傷から保護します。これに対して各キャビネットの上面パネルに 2 個の凹みが設けられており、J-INFRA をスタックした際にキャビネットがずれることを防止します。キャビネットの前面部には、オプションの移動用木製蓋 E7920 を固定するキャッチロック受けが 4 箇所に取り付けられています。

## コネクター

J-INFRA キャビネットには、NLT4F コネクターが 1 つ取り付けられています。フロントドライバーは、1+/1- のピン配列を使用し、リアドライバーは 2+/2- のピン配列を使用します。

J-INFRA は、オプションで EP5 または NL8 コネクターを選択することも可能です。対応する NLT4F、EP5 のピンおよび NL8 コネクターは下の表に示しています。

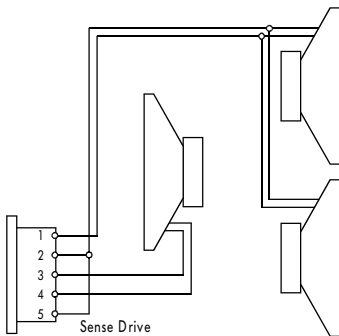


図 2: コネクターの接続

	LF + フロント	LF - フロント	LF + リア	LF - リア	SenseDrive フロント
<b>NLT4F</b>	1+	1-	2+	2-	不可
<b>EP5</b>	1	2	3	4	5
<b>NL8</b>	1+	1-	4+	4-	3-

## 注意!

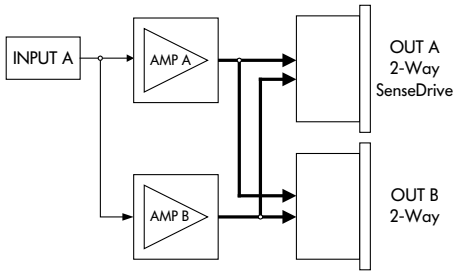


図 3: D12 入力/出力ルーティング 2ウェイアクティブモード

## オペレーション

J-INFRA ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみと（を）ご使用ください。他の使用方法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあります。

「2-Way Active」および J-INFRA モードが選択されている場合、アンプ出力チャンネルのペアも 1 個の J-INFRA キャビネットを駆動することになります。

入力信号は、1 個のアンプチャンネルに入力し、内部で入力信号が第 2 チャンネルにルーティング（リンク）されます。

D12 アンプによって、SenseDrive ではラウドスピーカーキャビネットを出力 A に接続できるようになります。

2 つのチャンネルは、後方で最大の回り込みを除去するカーディオイド指向性パターンとなるようにチューニングされています。

## コントローラーの設定

J-INFRA キャビネットを J-SUB キャビネットに近接して設置する時は、標準モードを選択します。

## 70 Hz 回路

J-INFRA キャビネットを J-SUB キャビネットから離れて設置する時は、システム間のカップリングが減少します。これは 70 Hz 回路を選択すると周波数の上限が 70 Hz に拡張され、減少が補完されます。

## HCD 回路

HCD を選択すると、ハイパーカーディオイド指向性パターンを提供し、キャビネット背面の左右で最大の回り込み除去となるよう、前後チャンネルのチューニングを最適化します。この特性は、ステージの左右にサブウーファーをスタックするセットアップに特に有効で、ステージ上の干渉を最低限に抑えます。

HCD モードは、周りに何も無い空間でも、壁の前でも使用できます。後方の壁との間に最低限必要な間隔は、キャビネットの後部にあるホイールで確保されています。但し、HCD モードにおいても、隣接する J-INFRA との間隔は 60 cm 以上離して設置します。

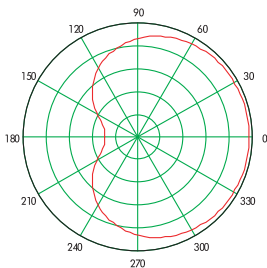


図 4: カーディオイドポラーパターン

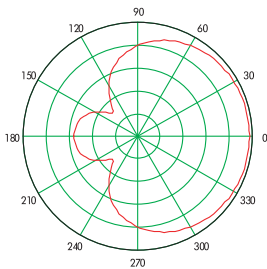


図 5: ハイパーカーディオイドポラーパターン

## 技術仕様

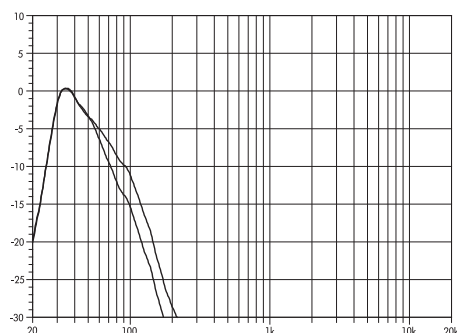


図 6: J-INFRA 周波数特性、標準および 70 Hz 設定

### J-INFRA システムデータ

周波数特性 (-5 dB 標準)	27 Hz ... 60 Hz
周波数特性 (-5 dB 70 Hz モード)	27 Hz ... 70 Hz
最大音圧 (シングルキャビネット、1 m、無響音場)	
D80 使用時	144 dB
D12 使用時	141 dB
30D 使用時	141 dB
	(音楽プログラムでの SPL ピーク)

### J-INFRA ラウドスピーカー

公称インピーダンス フロント/リア	3/6 Ω
許容入力 フロント (RMS / ピーク 10 ms)	1200/4800 W
許容入力 リア (RMS / ピーク 10 ms)	600/2400 W
コンポーネント	3 x 21" ドライバー
コネクタ	1 x EP5
	(オプション 1 x NL8)
ピン配列	
NLT4F	1+: フロント+/1 -: フロント-/2+: リア+/2 -: リア-
EP5	1: フロント+/2: フロント-/3: リア+/4: リア-/
	5: SenseDrive フロント
NL8	1+: フロント+/1 -: フロント-/4+: リア+/4 -: リア-/
	3 -: SenseDrive フロント
重量	152 kg (335 lb)

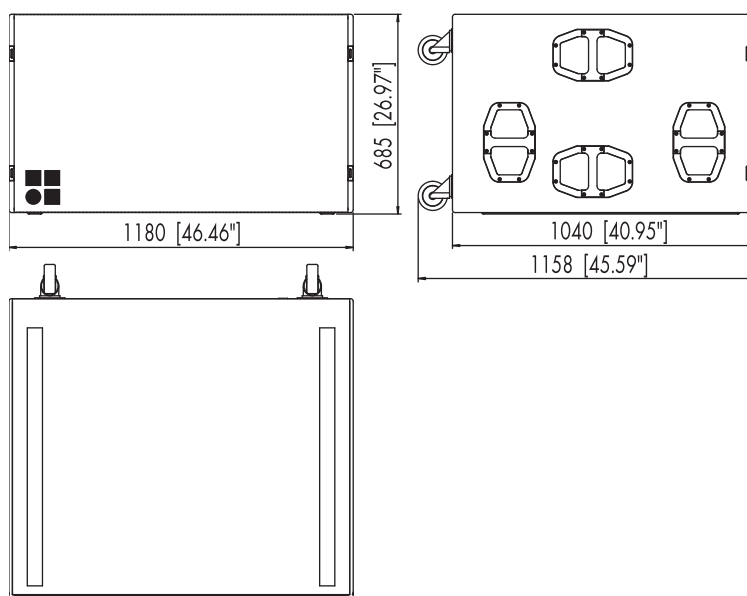


図 7: J-INFRA キャビネットの寸法: 単位 mm (インチ)

## 製造者宣言



### ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

- **J-INFRA ラウドスピーカー Z1000**

製造者 d&b audiotechnik GmbH.

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト [www.dbaudio.com](http://www.dbaudio.com) からダウンロードすることもできます。

### WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

Lesefehler